

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2009
Jtitle	新版 翁理図解 No.1 (2009.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000001-0008

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

「窮理図解」とは？



慶應義塾

福澤研究センター所蔵

この広報誌のタイトルは「新版 穷理図解」です。これは福澤諭吉が1868年(明治元年)に出版した『訓蒙 穷理図解』(きんもう きゅうりぎずかい)から拝借しました。これは日本初の科学読み物とでも言うべきもので、「訓蒙」とは「若い人や初心者にやさしく教えること」、「窮理」は「広い意味での物理」のことです。現代風のタイトルになると「イラストでやさしくわかる科学入門」といったところでしょうか。

本の中では熱、空気、水、引力、日食と月食などの現象が取り上げられ、その原理が図と共にわかりやすく説明しています。

出典として米英の物理書が挙げてあります。当時の日本人にとってわかりやすい例はすべて福澤が考えたものです。

福澤はまだ幕末時代の若い頃、大阪で医者の緒方洪庵が開いた蘭学塾「適塾」

で、当時の最先端の科学を学びました。その中で進んだ西欧文明の源となっている「論理的なものの考え方」の重要性を強く感じたのです。

当時の一般的な日本人は、古代中国から伝わる「陰陽五行」説という迷信のような考え方で天文や気象を理解していました。福澤はこうした日本人にこの科学読み物を通じ「論理的に考える」ことを教えたといえるかもしれません。

思想家・啓蒙家・教育家として知られている福澤ですが、『訓蒙 穷理図解』は福澤が「難しいことをやさしく書く」優れた科学ジャーナリストでもあったことを証明しています。

21世紀の今日、科学技術は複雑多岐にわたり難しくなる一方です。慶應義塾大学理工学部はもう一度「窮理図解」の原点に戻り、理工学分野の研究について広くお伝えしていくつもりです。

理 工 学 Information

KEIO TECHNO-MALL 2009

第10回慶應科学技術展 「実学（サイエンス）の未来形」開催

<http://www.kll.keio.ac.jp/ktm/>

2009年12月11日（金）10:00～17:00 東京国際フォーラム ホールB7・B5

入場無料・事前登録不要

慶應義塾先端科学技術研究センター（KLL）が年に一度開催する科学技術展。大学で生まれたさまざまな研究成果や技術を、約70の実演や現物展示で紹介します。また10周年記念となる今年は、産業界や行政の側からもゲストを招き、产学研連携の未来について考えるトークセッション、14の連携技術セミナー、2つのラウンドテーブルセッションも同時に行います。

慶應の科学技術情報 YouTube 動画配信

<http://www.youtube.com/user/keiouniversity>

慶應の科学技術情報のYouTube動画配信が開始されました！ 理工学部の各研究室でとりくんでいる研究内容を、3分から5分の動画で解説。物理情報工学科伊藤公平教授による、高校生向けの「こんなにすごい慶應の科学技術」の講義ビデオ（45分）もおすすめです。順次コンテンツを追加の予定。

編集後記

この新しい広報誌が発案されたのは、今年の春のこと。理工学部の科学技術を、かしこまらずにもっと魅力的にお伝えするにはどうすればよいのだろうか。そんな思いから始まり、12月、街なかも華やかに飾りつけられ、師も走るころによく皆さまにお届けすることができました。研究に一番のめり込んでいる研究者自身の口から研究の面白さを、そしてプライベートな部分から研究者の人間味を、今までよりも身近に感じられるよう発信していきたいと考えています。

今回特集した牛場講師はかなりのアイデアマンで、打ち合わせをしていても企画がいろいろ引き出しからポンポンと飛び出して、書きとめるのが追いつかないほど。毎日、医学部へ行ったり、企業を訪問したりと精力的で、取材側にとっては、なかなかつかまらない！でもそんな若手研究者ならではのエネルギーが雰囲気にあふれた創刊号になったのではと自負しています。さて、次号は1月末発行予定、管理工学が専門の女性研究者を特集します。ぜひお楽しみに。



© 慶應義塾大学

新版 穷理図解

No.01 2009 December

編集 理工学部広報委員会

写真 邑口京一郎

イラスト 奈良島知行 (Tane+1)

デザイン 八十島博明 (GRID)

編集協力 サイテック・コミュニケーションズ

発行者 青山藤詞郎

発行 慶應義塾大学理工学部

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

web版 <http://www.st.keio.ac.jp/kyurizukai>